



ほんだ

新発田市立本田小学校

学校再開 学力向上の取組

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応により、臨時休校が続きました。そんな状況の中でも、本田小学校の子どもたちは、コロナに負けず、一生懸命に家庭学習に取り組みました。本当に素晴らしかったです。お家の方からのご助言、励ましに感謝いたします。ありがとうございました。ようやく学校も再会し、友だちと学び合う楽しさを味わいながら、日々学習を進めているところです。

さて、今年度も本田小学校では、学力向上の取組を継続し、一人一人が分かる授業づくりを目指して様々な取組を行っています。その中から2つの取組を紹介します。

1 「主体的に学び、共に考えを深め合う子ども」の育成を目指した授業実践

まずは、日々の授業を大切にしていきます。子どもたちの中に「なぜ?」「やってみたい!」「考えてみたい!」といった、「問い」が毎時間連続する授業づくりを行います。子どもたち同士で積極的に自分の思いや考えを交流し、考えを深めたり、自分の学びを振り返り次の授業への意欲を高めたりする場面を大切にしていきます。

今年度から全面実施となった新学習指導要領でも、子どもたちが友だち・教師・地域の方等と積極的にかかわり、主体的に学ぶことが重要視されています。受け身の授業では意欲も湧きませんし、内容も身に付きません。子どもが「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」を実感できるように職員間で研修を重ねていきたいと考えています。



2 家庭と連携した家庭学習強調週間の実施



今年度は、家庭学習強調週間と元気アップ週間を連動させて取り組みます。「早寝・早起き・朝ご飯」「メディアコントロール」等、生活習慣を整えながら、よい学び方を身に付けてほしいと考えています。具体的には、各学期に1回ずつ、「学習・生活の意識を高める週間」と「パワーアップ週間」を設け、「貯学・貯健通帳」を活用して取組を進めます。この機会に、親子で家庭学習への取組を振り返りながら、さらにより習慣が身に付くよう、カードや自学ノートチェックなど、ご協力をよろしくお願いいたします。

しばたの心継承プロジェクトが始まりました

新発田市では、「新発田への愛着と、人に対する敬意や誇りを形成し、将来、ふるさと新発田を思いながら、互いに尊重し合って生きていける人間を育む」ことをねらう取組「しばたの心継承プロジェクト」が、今年度からスタートしました。

当校では、生活科や総合的な学習の時間を中心にして、各学年が工夫を凝らして活動を構想、実践しています。「しばたの心継承プロジェクト」の活動を実施する日は、校門脇と児童玄関に特製ののぼり旗を立てます。のぼり旗は、学校が地域と関わる活動に取り組んでいるサインです。地域に積極的に出かけ、地域にはたらきかけ、また地域からはたらきかけていただきながら、地域のよさを体感し、地域を愛する子どもを育てていきたいと思ひます。



校門の脇にのぼり旗を立てます



3年生は興野地区へ探検に出かけました

全校おにごっこをしました

6月の全校朝会は、グラウンドで行いました。校歌を歌って、校長先生のお話を聞いた後、全校でフラフープを使った「全校おにごっこ」を行いました。フラフープの中に身を置く先生方が「おに」になりグラウンドを走ります。子どもたちは、「おに」のフラフープにタッチできたら1ポイント獲得です。子どもが「おに」を追いかけるちょっと変わったおにごっこ。グラウンドには、先生方を追いかける楽しそうな子どもの声が響きました。3密を避け、新たな生活様式での生活が求められている中ですが、工夫次第で楽しみは創ることができます。子どもたちが楽しみを創っていける学校づくりを目指していきます。



グラウンドで校長先生の話听了



走って逃げる先生のフラフープを追いかけて